

参考資料 地域保健・健康増進事業報告との対照表

大腸がん精密検査依頼書 兼 結果報告書～抜粋

診断区分	i. 異常なし	1. 異常なし	診断日 (診断区分を決定した日付)
	ii. 大腸の癌腫 ^{※ア}	2. 粘膜内がん (Tis: 癌が粘膜にとどまり、粘膜下層に及んでいない) 3. 粘膜下層がん (T1: 癌の浸潤が粘膜下層までにとどまり、固有筋層に及んでいない) 4. 粘膜内がんまたは粘膜下層がん (詳細な深達度は不明) 5. 進行がん (T2以上: 癌の浸潤が固有筋層またはそれを越えているもの) 6. 進展度不明	平成 年 月 日
	※ア. 転移性の腫瘍であることが明らかでない場合はiiに分類してください		病変部位 病変部位のスケッチをお願いします
	iii. 大腸の転移性腫瘍	7. 大腸以外の腫瘍からの大腸への転移 (原発臓器:)	[]
	iv. 大腸の癌腫以外の腫瘍等	8. 癌腫以外の悪性の腫瘍 ^{※イ} () 9. ポリープ ^{※ウ} (直径10mm以上 ・ 直径10mm未満) 10. その他 ^{※エ} ()	
	※イ. 大腸に発生したカルチノイド、リンパ腫等はiv.8に分類してください ※ウ. 腺腫以外も含む ※エ. 大腸に発生したGIST等はiv.10に分類してください		[]
v. がんの疑いまたは未確定	11. がんの疑いまたは未確定 ^{※オ}		
※オ. 精密検査受診者のうち、検査結果が大腸がんの疑いのある者、精密検査が継続中で検査結果が確定していない者はv.11に分類してください 下の欄の「その後の処置」が「4.治療済み」の場合はv.11に分類せず最終診断区分をお書きください			
vi. i～v以外の異常 ^{※カ}	12. i～v以外で良性病変 ^{※キ} () 13. i～v以外で大腸以外の悪性腫瘍 ^{※ク} () 14. i～v以外でその他 ()		
※カ. i～vのいずれにもあてはまらない場合のみviに分類してください(i～vのいずれかにあてはまる場合の記入は不要です) ※キ. 大腸に発生した憩室などはvi.12に分類してください ※ク. 精密検査にて大腸には病変がない悪性腫瘍はvi.13に分類してください(例:胃がん、十二指腸がん、食道がん)			

地域保健・健康増進事業報告様式(平成29年度)

精密検査受診の有無別人数					
精密検査受診者					
異常認めず	異常を認める				大腸がん以外の疾患であった者(転移性の 大腸がんを含む)
	大腸がんであった者 (転移性を含まない)	大腸がんのうち 早期がん	早期がんのうち粘 膜内がん	大腸がんの 疑いのある 者又は 未確定	
i.1 vi.13～14	ii.2～6	ii.2～4	ii.2	v.11	iii.7 iv.8～10 vi.12

地域保健・健康増進事業報告様式(平成30年度以降)

精密検査受診の有無別人数								
精密検査受診者								
異常認めず	異常を認める							
	大腸がんであった者 (転移性を含まない)	大腸がんのうち 早期がん	早期がんのうち粘 膜内がん	大腸がんの 疑いのある 者又は 未確定	腺腫の あった者	最大腺腫の大きさ別人数		大腸がん及び 腺腫以外の 疾患であった 者(転移性の 大腸がん を含む)
						直径10mm 以上の 腺腫の あった者	直径10mm 未満の 腺腫の あった者	
i.1 vi.13～14	ii.2～6	ii.2～4	ii.2	v.11	iv.9	iv.9 (直径10mm 以上)	iv.9 (直径10mm 未満)	iii.7 iv.8, iv.10 vi.12